

[ホーム](#) > [長崎大学について](#) > [大学からのお知らせ](#) > [ニュース&トピックス一覧](#) > 原爆犠牲者慰霊祭を举行

長崎大学について

[学長メッセージ](#)[大学からのお知らせ](#)[ニュース&トピックス](#)[イベント情報](#)[学術情報](#)[公開講座](#)[広報誌](#)[施設貸出案内](#)[宿泊施設「親月荘」のご案内](#)[東京事務所利用案内\(長崎大学教職員・学生専用\)](#)[調達・工事情報](#)[教職員採用情報](#)[大学案内](#)[理念と特色](#)[ロゴマーク・学歌など](#)[寄附金・共同研究・受託研究](#)[情報公開・個人情報保護](#)[数字で見る長崎大学](#)[大学点検・評価](#)[卒業生向け情報](#)

原爆犠牲者慰霊祭を举行

2012年08月24日

8月9日10時55分から、原爆犠牲者慰霊祭が医学部記念講堂において、御遺族、学長、医学部長、教職員ら約250人の出席のもと開催されました。原爆犠牲者慰霊祭は、原爆死没教職員・学生898人の御霊を慰めるため毎年実施され、今年是被爆67年目にあたります。

はじめに松山俊文医学部長から式辞があり、その中で私たちは世界に2万発を超えと言われる核兵器の廃絶を目指す義務があり、今年4月に長崎大学に発足した核兵器廃絶研究センターの活動は小さな組織ながら私たちの願いを乗せた大きな一歩であるとの考えを示され、終わりに私たちに続く世代の人々の中から二度と被爆者が出ない世界を作るために、新しい世界が、67年前の被爆者の方々の無念の思いを広く世界へ伝え続けることによって生まれることを望み、すべての被爆者の御霊のご冥福をお祈りするとのお挨拶の後、原爆投下時刻の午前11時2分に合わせて、参列者全員による黙祷が捧げられました。

つづいて、原爆投下当時、長崎県立長崎中学校で学徒動員をされ、原爆没学生のご遺族の郡家徳郎氏から、当時の惨状を追想するお話をいただいた後、片峰学長ほか大学関係者、御遺族ら参列者全員による献花が行われました。

その後、前長崎大学医歯薬学総合研究科長で、昨年7月15日付けで福島県立医科大学副学長に就任した山下俊一教授から講話があり、長年、長崎大学において国際ヒバクシャ医療活動に尽力してきた成果を、今福島において生かしてこそ、原発事故による困難を乗り越えることができるとの復興支援活動に携わる思いを披瀝されました。

最後に遺族を代表して青木克己氏からのご挨拶をもって閉式となりました。

慰霊祭終了後、医学部福利厚生棟において、学徒遺族会、教職員遺族会及び看護師遺族会合同の追悼懇談会が行われました。



式辞を述べる松山医学部長



被爆時の惨状を語られる郡家氏



厳肅な雰囲気での慰霊祭会場



講話をする山下福島県立医科大学副学長(前長崎大学医歯薬学総合研究科長)



ご遺族を代表して挨拶される青木氏

[このページの先頭へ](#)

| [ホーム](#) | [長崎大学について](#) | [学部・大学院・附属施設](#) | [修学案内](#) | [学生生活](#) | [研究活動・国際交流](#) | [就職情報](#) | [入試情報](#) |

国立大学法人 長崎大学:長崎大学広報戦略本部 〒852-8521 長崎市文教町1-14

Copyright© 2010 Nagasaki University, All Rights Reserved.